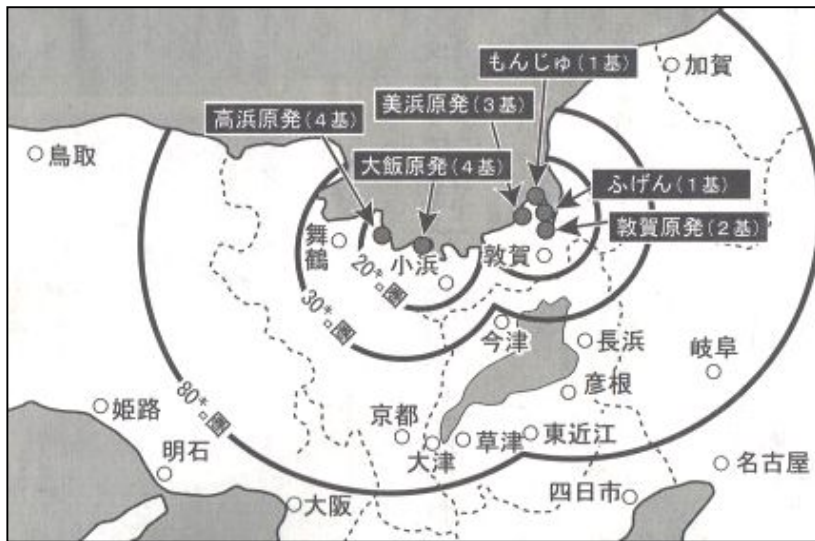


福島原発放射能漏れ事故…深刻な事態

直ちに 原発の総点検と安全対策必要

地震列島の日本に54基の原発があること事態が異常

福井には そのうち 14基も



まさか「原発銀座」

「安全神話」と決別しも原発依存から自然エネルギーへの転換を

東北・三陸沖の巨大地震と大津波による甚大な被害とともに、福島第一原発では放射性物質が大量に放出され、深刻な事態が続いています。こうした事態は、東電がいうように、想定外の不可抗力ではありません。これまで「安全神話」をふりまき、安全対策をなおざりに、闇雲に原発を推進してきた歴代の政府と電力会社の責任は重大であり、「人災」です。日本共産党は37年前から原発の安全性を指摘。今から5年前には、今回のような地震と津

波による原発事故の危険性を指摘し、安全対策を求めてきました。日本では「重大事故は起こらない」として、これを怠ってきた。しかも地震列島といわれる日本に54基もの原発がある。この事態が異常です。しかもそのうち14基は、守山と60kmしか離れていない福井県に集中しています。日本共産党は、直ちに原発を総点検し、安全対策を講ずること。また原発に頼るエネルギー政策から自然エネルギーへの転換が必要と訴えています。

守山は60km圏域

…54基のうち14基が集中するのが福井県。若狭湾周辺はまさに「原発銀座」と呼ばれるほどです。今回の福島原発事故では、半径20km圏内に避難指示、30km圏内に屋内退避がだされましたが、福井の「原発銀座」から30km圏域に、長浜や高島市が。守山市はほぼ60km圏域に。80km圏域となれば、琵琶湖を含む滋賀がすっぽり入ります。

…しかし滋賀県の原子力防災計画では、国いいなりで原発から10km以上離れていることを理由に、「異常事態が発生したと仮にしても、人体に影響が及ぶ恐れがない」などとしているため、避難計画や放射能を対外に排出するヨウ素材の備蓄など、被害を最小限に抑えるための対策がありません。日本共産党は、アメリカ・スリーマイル島の原発事故が起こった1979年、当時の吉原稔県議が原発事故の被害予測や防災計画を取り上げたのを皮切りに、原発と隣接する自治体が安全協定を締結し、事故時の通報を義務づけるよう求めてきました。今回事故直後にも、嘉田知事に対して、防災計画の抜本的な見直しを緊急に申し入れたところ。

…県の防災計画には、「自らのいのちは自らが守る」と自己責任を強調していますが、住民の生命と健康、福祉を守り、安全・安心のまちづくりをすすめることは自治体の大事な仕事です。

…福島原発の深刻な事態にもかかわらず、福井原発を所管する関西電力は、この期に及んで「若狭湾ではあのような事故は起こらない」と断言し、安全を強調するニュースを地域に配布しているということです。こうした「安全神話」と決別し、直ちにすべての原発の総点検・安全対策が必要です。より深刻さを増す福島原発の危機は、専門家を含めて国があらゆる知恵と力を結集して、一刻も早く収束させるために全力を尽くすことです。

福祉を守り、防災に強いまちづくりを

地震を避けることはできませんが、地震による災害を最小限に抑えることは政治の責任です。今回の地震による未曾有の被害の実相を見て、人間の生命を守ることが如何に大事か、を誰もが痛感したことでしょう。そのためには、大切な税金を、「福祉を守り、災害に強いまちづくり」にこそ優先して使う政治のあり方が問われています。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員

こまき一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者

まつば栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 521号 2011・4・7 TEL 583-8552 FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。